

## ロボット支援下鼠径ヘルニア修復術の

### 安全性と妥当性に関する観察研究についての情報公開

当院外科では、ロボット支援下鼠径ヘルニア修復術を受けた患者様に対して、その術後成績を検討することで、安全性と妥当性を調査するための後ろ向き観察研究を企画しました。カルテ情報から手術成績、術後の経過を参照させていただきます。研究のため検査を追加するなど、患者様の負担となるようなことはいたしません。たとえ研究対象になることをお断りになっても不利益はございません。

研究課題名	ロボット支援下鼠径ヘルニア修復術の安全性と妥当性に関する観察研究
実施責任者	所属・職名： 外科 部長 氏名： 水谷文俊
研究の概要	最近、手術ロボットの支援の下に鼠径ヘルニアを治療する手術法が世界中で急速に増加しております。日本でも関連するいくつかの学会のルールの下に安全に導入され始めてきました。これから更に普及すると予測されています。そこで日本でのこの手術の術後成績を明らかにしようということでこの研究が計画されました。全国約13病院が参加します。研究代表者は、帝京大学附属病院外科 三澤健之教授です。

対象となる個人情報	① 手術中の合併症について ② 手術の成績（時間や出血量など） ③ 手術後の回復の程度 ④ 手術後の痛みの程度
実施の期間	西暦 2021年12月17日および
	西暦 2021年12月22日
研究対象	上記期間にロボット支援下鼠径ヘルニア修復術を受けた患者様

・問い合わせ窓口

この研究にご質問がありましたら下記までお問い合わせ下さい。

御自身の情報が研究に使用されることについて御了承いただけない場合は研究対象としないので、2022年3月31日までに下記の連絡先までお申し出ください。

公益社団法人日本海員掖済会 名古屋掖済会病院

職名：外科部長

氏名：水谷文俊

電話：052-652-7711